

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シーマ

コード番号 7638 URL <http://www.cima-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白石 幸栄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括

(氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,536	△8.9	△547	—	△559	—	△996	—
24年3月期第3四半期	7,172	△15.8	△264	—	△267	—	△271	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △996百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △270百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△5.43	—
24年3月期第3四半期	△1.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,489	4,234	56.5
24年3月期	8,723	5,233	60.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,234百万円 24年3月期 5,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,489	△15.3	△722	—	△740	—	△1,185	—	△6.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	183,765,644 株	24年3月期	183,765,644 株
25年3月期3Q	101,733 株	24年3月期	792 株
25年3月期3Q	183,719,961 株	24年3月期3Q	183,764,870 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、四半期決算短信[添付書類]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年12月31日）におけるわが国経済は、当面弱さが残るものの、東日本大震災の復興需要が下支えするなかで、再び景気回復へと向うことが期待されています。しかし、海外経済を巡る不確実性は依然として高く、景気を下押しするリスクとなっています。

このような経済状況のもと、当社および当社の関係会社（以下当社グループという）の主力であるブライダル事業は、個人消費の低迷に加え、インターネットの普及などによる販売チャネルの多角化などにより、商品単価の低価格化が進むと同時に、企業間競争が一層激化するなど、厳しい環境下での営業となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、集客数の増加や売上拡大を図ると同時に、経費削減のため様々な施策を実施しましたが、想定した集客結果が得られず、売上が伸び悩み、利益を捻出することができませんでした。

従いまして、平成24年5月10日付で公表した平成25年3月期の連結業績予想との間に差異が生じたため、業績予想を修正しました。収益性が低下した店舗の運営を見直すため、固定資産の減損処理を実施し、特別損失として83百万円を計上するとともに、今回の修正予想を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に見直した結果、繰延税金資産の一部を取崩すこととし、法人税等調整額に2億60百万円を計上しました。「特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」（平成25年2月8日開示）

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高65億36百万円（前年同四半期比8.9%減）、営業損失5億47百万円（前年同四半期は営業損失2億64百万円）、経常損失5億59百万円（前年同四半期は経常損失2億67百万円）、四半期純損失9億96百万円（前年同四半期は四半期純損失2億71百万円）となりました。

当社を取り巻く環境は、今後も厳しい状況が予想されますが、集客戦略の見直し、販売力の強化により売上増を図ると同時に全社的な経費削減の徹底により、利益を生み出す体制作りに向け、業績の回復を目指します。

なお、当第3四半期連結累計期間に実施した主な施策は次のとおりです。

1) 広告戦略の見直し

集客力向上のため、広告制作部門を強化することによりブランド価値を向上させ、認知度向上に努めました。特に、ブランドイメージを向上させるために新しいビジュアルを取り入れた広告や、ファッション雑誌等への掲載の実施、WEB広告を強化することで、従来はアピールできなかった顧客層の開拓を目指しました。

2) 商品力の強化

第2四半期連結累計期間に発表した商品に加え、当第3四半期連結会計期間に以下の新商品を発表しました。

（銀座ダイヤモンドシライシ）

マリッジリング「Venus feather（ヴィーナスフェザー）」
 エンゲージリング「Smiling（スマイリング）」
 ファッションジュエリー「Bright garden（ブライトガーデン）」

（エクセルコダイヤモンド）

マリッジリング「Elisabeth fine（エリザベートフィース）」
 マリッジリング「miniature（ミニアチュール）」
 マリッジリング「Reine de Corolle Fine（レーヌドコロールフィース）」
 マリッジリング「Chanter（シャンテ）」

3) 販売促進施策の実施

「EARLY WINTER 2012」
 「X`mas FAIR 2012」
 「恋するふたりを応援するプレゼントキャンペーン」

4) 接客販売力の強化

自己教育ツールの開発により、レベルの高い接客を実現できる仕組みづくりを導入し、全店舗スタッフの接客販売力強化に取り組みました。

5) 経費面の全面見直し

全部署を対象とし、全社網羅的な経費削減策を実施しました。

当社グループの販売・サービス別の売上は、以下のとおりです。

セグメントの名称	販売・サービスの名称など	当第3四半期連結累計期間(千円) (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	前年同四半期比 (%)	構成比(%)
ブライダル事業	ブライダル関連販売・サービス	6,234,930	91.1	95.4
	ファッション関連販売・サービス	300,300	91.4	4.6
	その他(注)2	1,430	95.8	0.0
合 計		6,536,661	91.1	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。
 2. 「その他」は、催事・本社関連などの売上となっています。
 3. 「ブライダル関連販売・サービス」は、ブライダルジュエリー販売、ギフト販売、ウェディング送客サービス、ティアラ・レンタルサービスおよび連結子会社の売上となっています。「ファッション関連販売・サービス」は、ファッションジュエリー販売の売上となっています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億21百万円減少(前連結会計年度比13.0%減)し、48億41百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少3億23百万円、商品及び製品の減少3億99百万円などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億12百万円減少(同16.2%減)し、26億48百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の減少1億24百万円、敷金及び保証金の減少1億10百万円、繰延税金資産の取崩しによる減少2億69百万円などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて14.1%減少し、74億89百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ16百万円減少(前連結会計年度比0.6%減)し、26億74百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加1億円、1年内返済予定の長期借入金の減少29百万円、未払金及び未払費用の減少84百万円などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億19百万円減少(同27.4%減)し、5億80百万円となりました。その主な要因は、社債の減少1億20百万円、長期借入金の減少87百万円などによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて6.7%減少し、32億54百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて9億98百万円減少(前連結会計年度比19.1%減)し、42億34百万円となりました。その主な要因は、四半期純損失による利益剰余金の減少9億96百万円などによるものです。

以上の結果、自己資本比率は56.5%(前連結会計年度末は60.0%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成24年5月10日に公表しました平成25年3月期の連結業績予想を修正しました。詳細については、「平成25年3月期 業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ」(平成25年2月8日開示)をご覧ください。

※本資料の上記の予想は、提出日現在において、入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,756	728,675
受取手形及び売掛金	383,775	382,942
商品及び製品	3,900,782	3,501,747
原材料及び貯蔵品	66,185	76,678
前払費用	106,082	97,735
繰延税金資産	34,213	43,244
その他	19,549	10,232
貸倒引当金	△120	△120
流動資産合計	5,562,226	4,841,136
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	679,445	528,903
車両運搬具 (純額)	8	0
工具、器具及び備品 (純額)	980,274	1,006,211
有形固定資産合計	1,659,728	1,535,114
無形固定資産		
ソフトウェア	47,454	44,426
電話加入権	4,932	4,932
無形固定資産合計	52,387	49,359
投資その他の資産		
長期前払費用	19,523	17,603
長期貸付金	15,398	11,768
敷金及び保証金	1,114,336	1,003,827
繰延税金資産	299,120	29,916
その他	14,176	14,226
貸倒引当金	△13,562	△13,559
投資その他の資産合計	1,448,992	1,063,782
固定資産合計	3,161,107	2,648,256
資産合計	8,723,334	7,489,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	251,571	205,005
短期借入金	1,400,000	1,500,000
1年内償還予定の社債	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	146,086	116,976
未払金及び未払費用	514,904	430,197
未払法人税等	27,796	31,888
前受金	164,725	153,202
その他	15,241	66,966
流動負債合計	2,690,325	2,674,235
固定負債		
社債	345,000	225,000
長期借入金	161,836	74,104
退職給付引当金	272,525	270,636
長期未払金	20,296	10,508
固定負債合計	799,658	580,249
負債合計	3,489,984	3,254,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,777,743	1,777,743
資本剰余金	1,536,643	1,536,643
利益剰余金	1,915,018	918,158
自己株式	△73	△1,879
株主資本合計	5,229,331	4,230,665
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,018	4,243
その他の包括利益累計額合計	4,018	4,243
純資産合計	5,233,349	4,234,908
負債純資産合計	8,723,334	7,489,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,172,425	6,536,661
売上原価	2,294,583	2,171,909
売上総利益	4,877,841	4,364,752
販売費及び一般管理費	5,142,492	4,912,532
営業損失(△)	△264,651	△547,780
営業外収益		
受取利息	218	195
為替差益	11,194	—
未払配当金除斥益	3,941	3,271
貸倒引当金戻入額	393	—
その他	2,849	4,231
営業外収益合計	18,598	7,698
営業外費用		
支払利息	13,281	14,511
社債利息	5,859	4,692
社債発行費	2,217	—
為替差損	—	274
その他	52	68
営業外費用合計	21,411	19,548
経常損失(△)	△267,464	△559,629
特別損失		
固定資産除却損	8,799	2,439
減損損失	48,361	146,659
特別損失合計	57,160	149,098
税金等調整前四半期純損失(△)	△324,624	△708,728
法人税、住民税及び事業税	14,081	27,959
法人税等調整額	△67,487	260,172
法人税等合計	△53,405	288,131
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△271,219	△996,860
四半期純損失(△)	△271,219	△996,860

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△271,219	△996,860
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	817	224
その他の包括利益合計	817	224
四半期包括利益	△270,401	△996,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△270,401	△996,635

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。